

平成 30 年度 第 8 回

おおさか環境ネットワーク会議議事録

日 時：平成 31 年 3 月 19 日（火）18：30～20：30

場 所：大阪市環境局第 1 会議室 あべのルシアス 12 階

出席者：NPO 法人 リアルにブルーアースおおさか 武田氏

NPO 法人 日本ベジタリアン協会 関目氏、橋本氏

なにわエコクラブ 山元氏

NPO 法人環境情報ステーション pico、グリーンコンシューマー 大林氏

なにわエコ会議 山下氏

NPO 法人環境カウンセラー協会 田中氏

NPO 法人木育フォーラム 米地氏

菅原春秋堂 ふじいはじめ氏

昆虫科学教育館 久留飛氏、渡部氏

ケイゾクエナジー 近藤氏

イー・ビーイング 井上

ファシリテーター：World Seed 岡見氏

事務局：井上

環境局 片岡

プログラム

### 1. 自己紹介&近況報告

### 2、「交流をひろげるために」

講師：近畿大学総合社会学部教授 久 隆浩氏

内容：別添資料のとおり

### 3、次年度に向けての意見交換

- ・定例会は自分がしていない環境の話が聞ける情報交換の場であり、一方、自分たちの活動を発信する場として、ECO 緑日、ヤマダくんイベントがあって、よかった。イベントを実施すると、自分たちのいつもの活動では知ってもらえない会うことがない第 3 者にも知ってもらえることができる。
- ・いつもの定例会で話を聞くことに加え、イベント会場でその場で見て感じることも情報交換に繋がっていると思う。
- ・定例会のネットワーキング型とイベント実施目的型は切り離して考えればよい。
- ・定例会とイベントと実施するのはいいと思う、その際、こんなイベントをやりませんかと緩やかな誘い方で進めるとよい。（今年度は参加する以外の選択肢がなかった）
- ・イベントありきでそれに向かって進めていくのみだったように思う。

- ・イベント後の意見交流会があればよかった。イベント開催して終了ではなく、その後つながらるような仕掛けを設けてはどうか。
- ・多くの団体に参加してもらうためには、ふんわりとした雰囲気も必要なので、テーマを決めた話し合いとざっくばらんな情報交換の時間の両方を作るのがいいのかもしれない。
- ・団体によって、まだ参加する人によって来ている目的が違うので、内容を絞ると参加団体は減ることになる。
- ・イベントを開催したい団体、そうではない団体がある。どちらの団体も楽しんで参加できる部分が必要かもしれない。
- ・フランクに集まって意見交換・対話ができる場とするため、入会手続きをなくして自由にしてはどうか。
- ・ネットワーク参加団体だけでなく、(未参加の団体で) 興味のある人がふらりと参加してみる、ことも可能にしてはどうか。

#### 4、イベント振り返り 別添資料のとおり

#### 5、PR タイム